



地域学校協働本部だより

令和5年3月8日発行 NO.11

港区立赤羽小学校 校長 中村 美奈子
地域コーディネーター 石川 啓子
大蔦 淳子
地域学校協働本部担当 小林 砂織
湯浅 敬則

卒業に向けての玄関装飾

今月は、卒業をテーマにした装飾です。6年生に卒業のお祝いの気持ちと、6年間の楽しい思い出を胸に、未来へ羽ばたいて行ってほしいという思いを込めて作りました。大きな花束は、いろいろな種類の花があり、花びら一枚一枚を丁寧に重ねて、立体的に作ってあります。素敵な飾り付けになりました。また、桜の飾りがあり、春の訪れを感じるものになりました。ご来校した際は、ぜひご覧ください。



今頃の時期を啓蟄と言います。「啓」は開く、「蟄」は土中で冬ごもりをしている虫の意味があります。冬眠していた虫が春の気配を感じ、穴から出てくる時期であります。生き物が元気に活動的になってきますね。6年生の皆さんは、もちろん、進級する皆さんの門出をお祝いしてエールの花束を作成しました。あれ？ ツバメが？ そう、ツバメは夏の鳥ですが、「越冬ツバメ」と言ってその土地で冬を過ごすものもいます。今の港区は、再開発が行われ、人間にとっては住みやすさを追求した建物が多くなりましたが、巣をかける木や建物の部分も鳥が来ると、汚れるなどの理由で軒先を貸してくれる場所も少なくなっています。



人も生き物たちも「みんな仲良く」暮らせる地域にしたいですね。地域学校協働本部赤サポ(赤羽小サポート)のボランティアさんは、皆さんの成長と楽しい学校生活を願って応援してくれています。次年度も応援をしてくださる方々を募集しています。装飾活動のほか、子ども達と昔遊びをしたり、夏休みに植木に水をやったり・・・応援して下さる方は、小林先生、湯浅先生にご連絡下さい。